

今回は議会からの呼びかけにより、テーマごとに町民の方との懇談会を3会場で、また団体からの要請でおこなった出前型を1回開催しました。

質問に対してはその場で回答し、また町への要望等については担当の所管委員会より、関係課を通じて後日に回答、あるいは調査を行います。

呼び掛け型

■担い手対策

2月22日
 倶知安技能士会10名参加
 議員：盛多、榑、作井、小川、木村

さまざまな職種において、慢性的な担い手不足となっている。今回は倶知安技能士会所属の企業の方から担い手の現状について、また建設関係の方が多いので老朽化している役場庁舎等について懇談しました。

■担い手の状況

・わが町の技能士会の大工は10年しないうちに1桁になる。技能資格は国家資格で、公共工事の仕



技能士会との懇談

様書には「地元技能士会を利用すること」とあるが活かされていない。
 ・公共工事において設計段階から地元業者が関わることができれば、無駄な工事が省け、損がでない。降雪期の工事も手間だけが増えるのでやめてほしい。
 ・頑張つて新入社員登用しても助成がない。定住人口を増やしたいなら新入社員登用する会社にも目を向けてはどうか。
 ・リフォーム助成などの申請手続きが煩雑すぎて、業者は敬遠しがち。雪融けからすぐに建設できる

ように年度前から申請受付をし、建設期間を少しでも長くするなど利用したい町民にも不利益ないように工夫してほしい。

役場庁舎の展望
 ・旧東陵中は耐震までしているのだから、遊ばしているのなら、庁舎として活用するのが良いのでは。新築してお金をかけるのは町民の理解が得られないのでは。

・ひらふ地区の不動産売買は年100億規模に対して固定資産税は少ない。もう少し税収を増やすことを考えて欲しい。

■子育て関連
 2月24日
 子育て支援センター利用者12名参加
 議員：三島、原田、坂井、古谷

幼児、児童を育てている世代の人達に、子育ての環境等について懇談しました。

・町長主催のまちなか懇談会で、託児室を設けて欲しい。
 ・今後、未満児の子供を保育園に入れた人が増えると思うが保育士の確保が心配なので、保育士の待遇を良くした方がいい。町外の人が臨時保育士に採用になっても、部屋代が高いので暮らしていかない。部屋の補助など。
 ・パートで働いても保育料が高くなるので、働かない方がいい。
 ・統合保育所になったら、未満児と、幼稚園の2か所に通わせることになるかと心配。
 ・統合保育所と幼稚園の費用はどうなるのか。
 ・幼稚園と統合保育所の給食はどうなるのか。
 ・学校給食は、安全安心な食材を使つてほしい。
 ・給食は米飯給食にしてほしい。そうするとアレルギーの心配が少なくなる。
 ・ヒラフ地区に子供が遊べる遊具のある公園が欲しい。
 ・保健福祉会館の調理室を子育ての親にも開放できないか。

■身近な国際化

3月4日
 琴和町内会・山田地区などからの参加
 議員：田中、笠原、山田、門田

年々増える外国人観光客や外国人住民との共生等について懇談しました。

地域で感じる国際化
 ・冬期間就労外国人による騒音・ゴミの問題
 ・言葉の壁
 ・外国人観光客ではなく従業員によるトラブル

**「まちなか懇談会」
4回開催！**

が多いと感じる
 ・居住外国人は地域に溶け込もうとしている。
 ・市街地にも外国人観光客や住民が増えているので、ルール作りなど備えた方がよい
 ・外国人に分かりやすいピクトグラムなどの表記看板や外国人住民の多い他地域の取り組みを参考にすべき

■仕事上感じる国際化

取引内容を最初に明示し履行すれば次につながる。
 ・外国人のお客は酔うと言うことを聞いてくれないので困る。
 ・日本人のお客と意識が違うので対応を変える必要がある。

その他

・英語の教育をした方がよい。
 ・新幹線に向けた取り組みが町民に伝わっていない。駅前通りを町道にしてはどうか。

■出前型

■倶知安青年会議所

4月4日
 参加者21名
 議員：全員

倶知安青年会議所からの要請で、平成28年度予算概要および議会のしごとを説明、また「責任世代に求められていること」について意見交換会をおこないました。予算概要についての質問

JC：「市場のあり方に関する検討調査業務委託」の「あり方」とはどのようなことか。

JC：北7条街路の新規事業について

JC：道から補助金をもらうことから「地産地消費推進施設（学校給食センター）」という名称になったということだが給食のみの活用なのか。



倶知安青年会議所との懇談

議長室からこんにちは

春は生命力に満ちた季節であることに掛けて、「若々しいこと」「元気で勢いのあること」を表す際に使われることが多い。また季節の言葉辞典には春は楽しい季節とあります。木々は芽生え、新緑の町に花が似合う季節になりました。倶知安町役場にも多くの夢と希望を持った職員が大勢入りしました。やる気満々、みんな素敵な笑顔の職員が集まりました。公僕として更なる活躍を期待するところでありたい。

念願でありました北海道新幹線、札幌までの延伸工事も順調に進み、我が町でもこの秋からトンネル工事に取り進むべ



き事務所、宿舍がまちなかに建設されています。

また、高規格道路（北海道横断自動車道）倶知安から共和間の着工も決定し、その概況も近々明らかになると聞いています。2026年札幌オリンピックがIOCで決定されると、この町の環境は大きく変わると思います。

過日もグランヒラフでリフト更新工事の地鎮祭に出席しましたが、昭和60年当時のリフトが4人乗りの最新型に生まれ変わるそうです。新しいホテルなどの計画も多く、倶知安を中心とした二セコ観光の前途は明るいですが、ホスピタリティ機能は万全なのか、世界から来る多くのお客様をお迎えする体制を倶知安町全体で考えていかなければなりません。町民一人一人がお客様をお迎えする気持ちになることが大切です。

政府では、農水産物について、2020年までに1兆円の規模での輸出を具体的に検討しています。羊蹄山麓の各町村で協議会をつくり、ジェットロ（日本貿易振興機構）の助言を得ながら取り進めていきます。

最後になりましたが、町内随所で「議会報告会」を開催させていただきましたが、皆様のご意見を議会で反映させていただきます。ご協力いただきました皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。

倶知安町議会議長 鈴木 保昭